

小学校就学前児童 向け

千葉県子ども・子育て支援ニーズ調査
結果報告書

【概要版】

令和4年11月
千葉県子ども未来局

I 調査の概要

1 調査の目的

現在の千葉市こどもプラン（第2期）に位置付けられている「子ども・子育て支援事業計画」は、計画期間が令和6年度までとなっており、計画中間年度において、必要に応じて計画の見直しを図ることとされています。計画の中間見直しを検討するにあたり、幼稚園、保育所、その他の子ども・子育て支援事業の現在の利用状況及び今後の利用意向を把握するためのアンケートを実施しました。

2 調査対象

行政区（6区）及び年齢（0～2歳・3～5歳の2区分）による12区分を設けた上で、区分ごとに市内在住の小学校就学前児童8,530人を無作為抽出。

3 実施期間

令和4年6月27日（月）～令和4年8月1日（月）

4 主な調査項目

- 保護者の就労状況・就労希望
- 幼稚園・保育施設等の利用状況・利用希望
- 地域子ども・子育て支援事業の利用状況・利用希望
- 保護者の育休取得状況・取得希望

5 調査票の配布・回収方法

直接郵送により配布・回収

6 回収状況

	配布数	回収数	回収率
今回調査 (令和4年度)	8,530	3,563	41.77%
前回調査 (平成30年度)	9,250	5,267	56.94%
前々回調査 (平成25年度)	9,360	5,458	58.31%

7 報告書の見方

- 図表中の「n（回答者数）」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（％）の母数を表します。
- 回答率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。
- 回答者が2つ以上回答することができる設問（複数回答）の場合、その回答率の合計は100%を超えることがあります。

II 調査結果

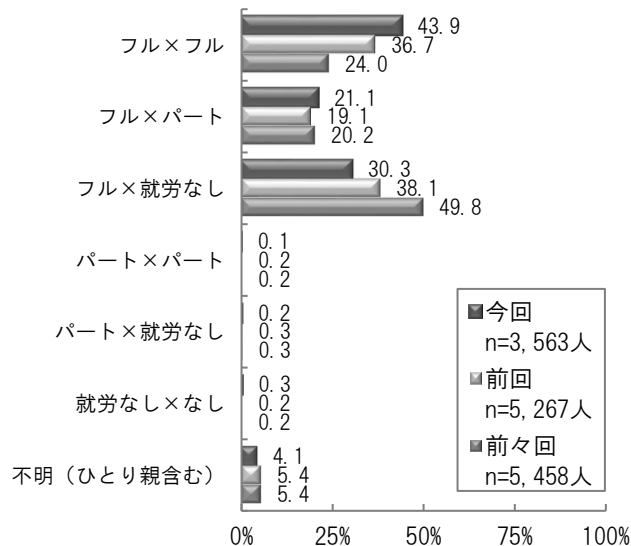
1 保護者の就労状況

【図表 1-1】両親の就労状況

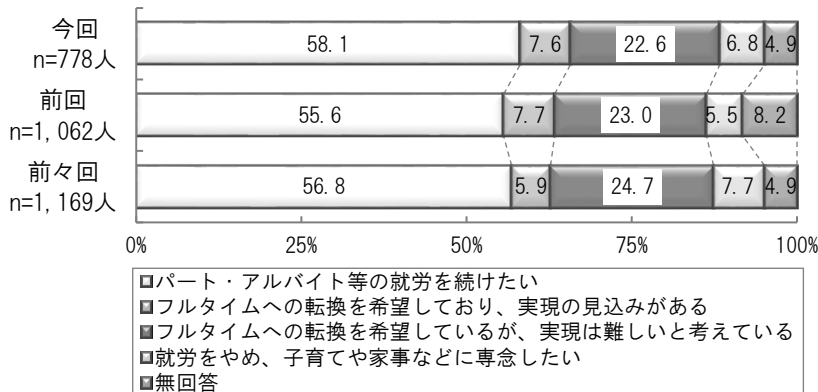
フルタイム … 週5日程度・1日8時間程度の就労
 パートタイム… フルタイム以外の就労

調査対象の子どもの両親の就労状況は、「フルタイム×フルタイム」が43.9%で最も多く、次いで「フルタイム×就労なし」が30.3%、「フルタイム×パートタイム」が21.1%となっています。

家族類型	父親の就労状況	母親の就労状況
フル×フル	フルタイム就労	フルタイム就労
フル×パート	フルタイム就労	パート・アルバイト等
	パート・アルバイト等	フルタイム就労
フル×就労なし	フルタイム就労	就労していない
	就労していない	フルタイム就労
パート×パート	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等
パート×就労なし	パート・アルバイト等	就労していない
	就労していない	パート・アルバイト等
就労なし×就労なし	就労していない	就労していない
不明(ひとり親含む)	上記以外 (ひとり親又は、どちらかの就労状況が不明)	

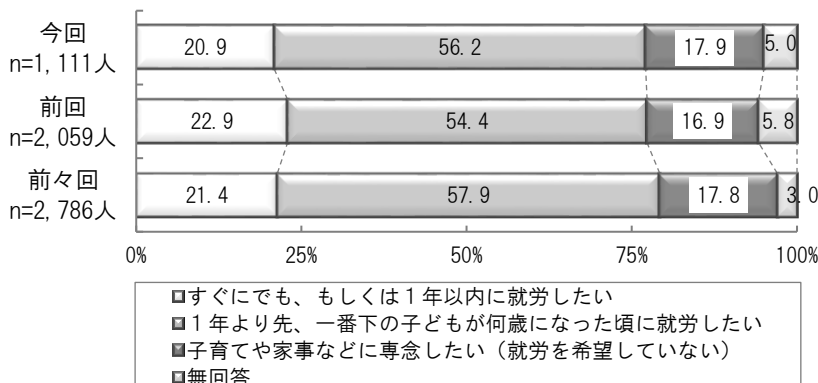


【図表 1-2】パート・アルバイト等で就労している母親の今後の就労希望



パート・アルバイト等で就労している母親の58.1%がパート・アルバイト等の就労の継続を希望し、30.2% (7.6% + 22.6%) がフルタイムへの転換を希望しています。

【図表 1-3】就労していない母親の今後の就労希望

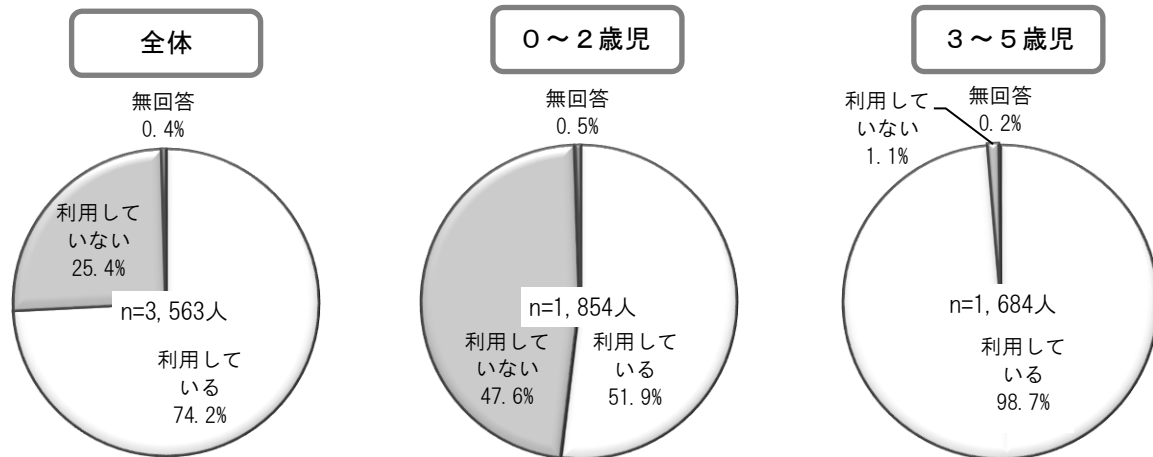


就労していない母親の77.1%が今後の就労を希望しており、うち56.2%が1年より先の就労を希望し、20.9%がすぐにも(1年以内に)就労したいと希望しています。

2 日常的な幼稚園・保育施設等の利用状況・利用希望

【図表 2-1】 日常的な幼稚園・保育施設等の利用の有無

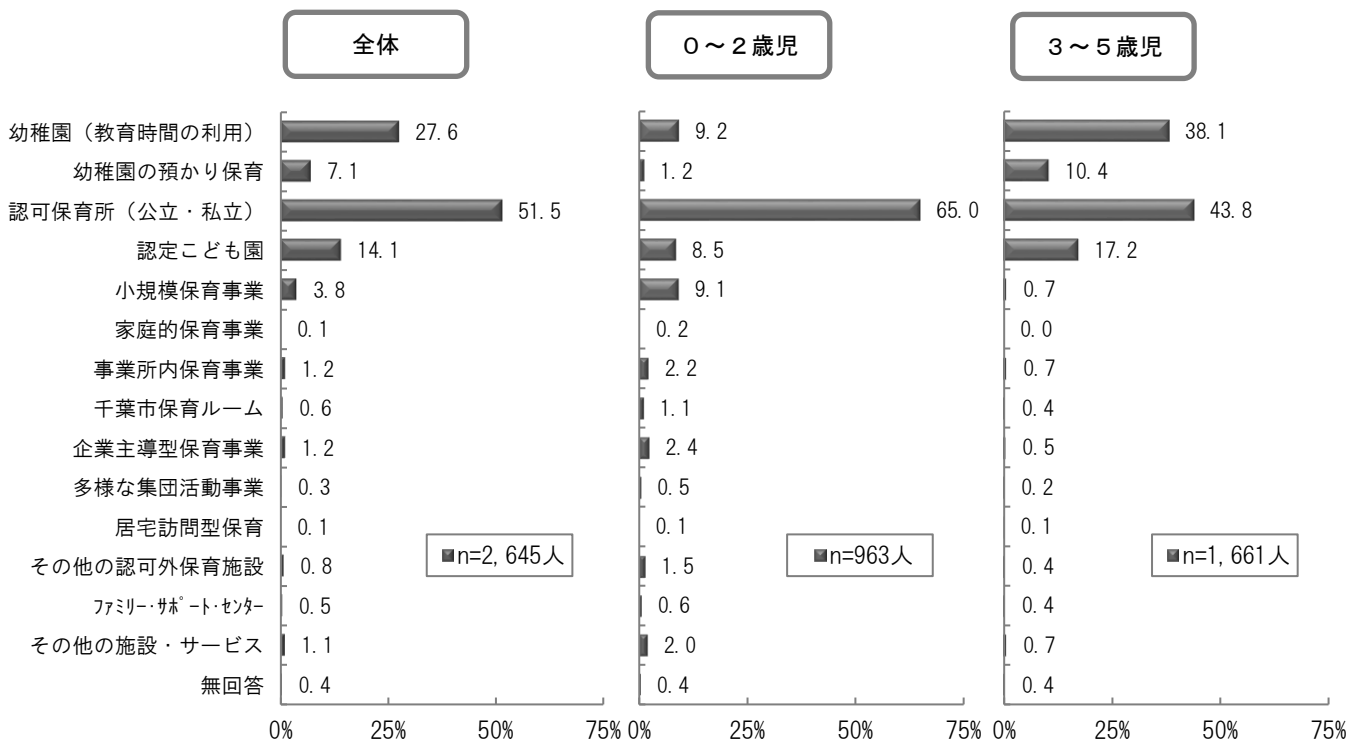
子どもが日常的に幼稚園・保育施設等を利用している者の割合は、全体が 74.2%、0～2 歳児が 51.9%、3～5 歳児が 98.7%となっています。



【図表 2-2】 日常的に利用している幼稚園・保育施設等《複数回答》

子どもが日常的に利用している施設等は、「認可保育所（公立・私立）」が 51.5%で最も多く、次いで「幼稚園（教育時間の利用）」が 27.6%で、合わせて約 8 割となっています。

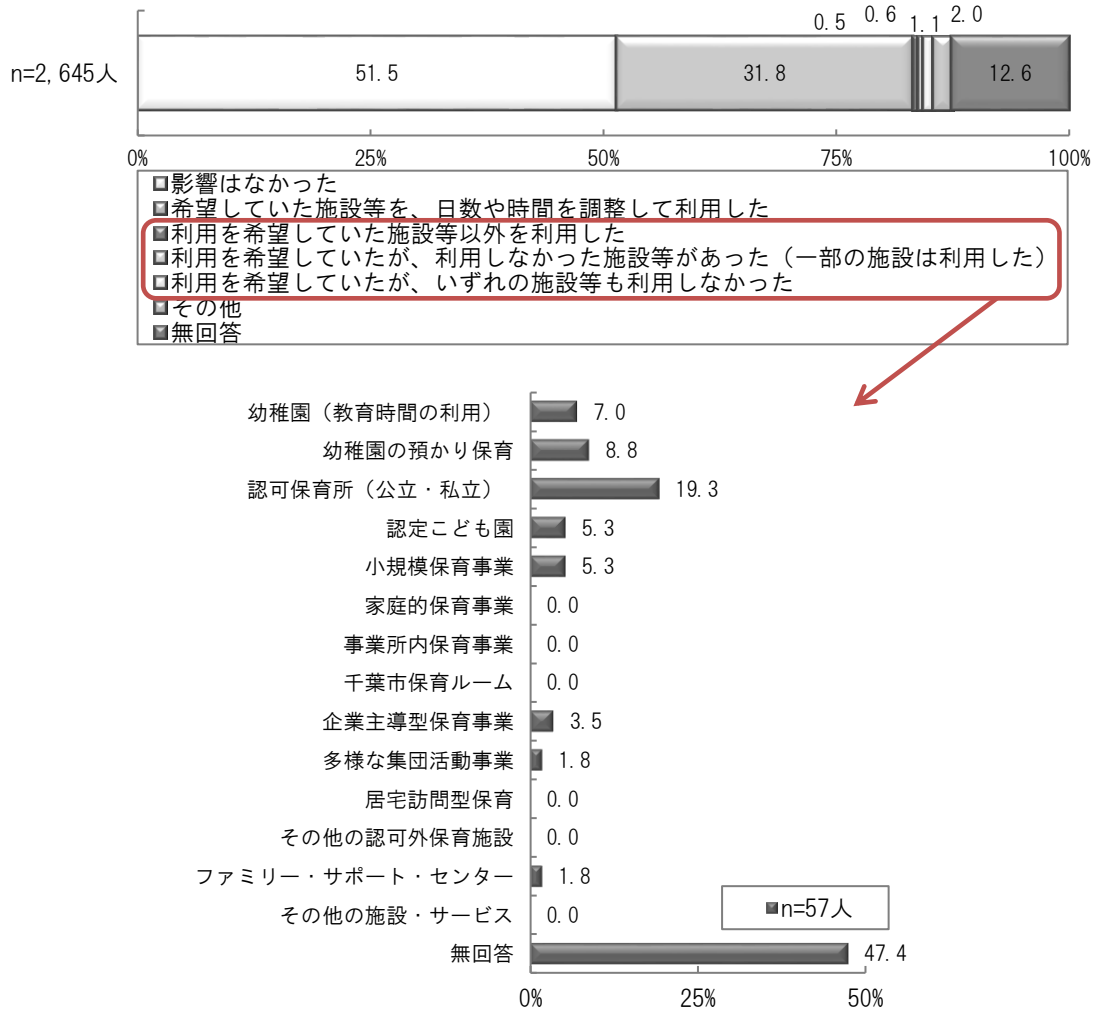
年齢別にみても、「認可保育所（公立・私立）」（0～2 歳児 65.0%、3～5 歳児 43.8%）の利用が最も多くなっています。



【図表 2-3】施設等利用における新型コロナウイルス感染症の影響と最も利用を希望していた施設

幼稚園・保育施設等利用における新型コロナウイルス感染症の「影響はなかった」と回答した割合は 51.5%で半数を超えています。「希望していた施設等を、日数や時間を調整して利用した」は 31.8%となっています。

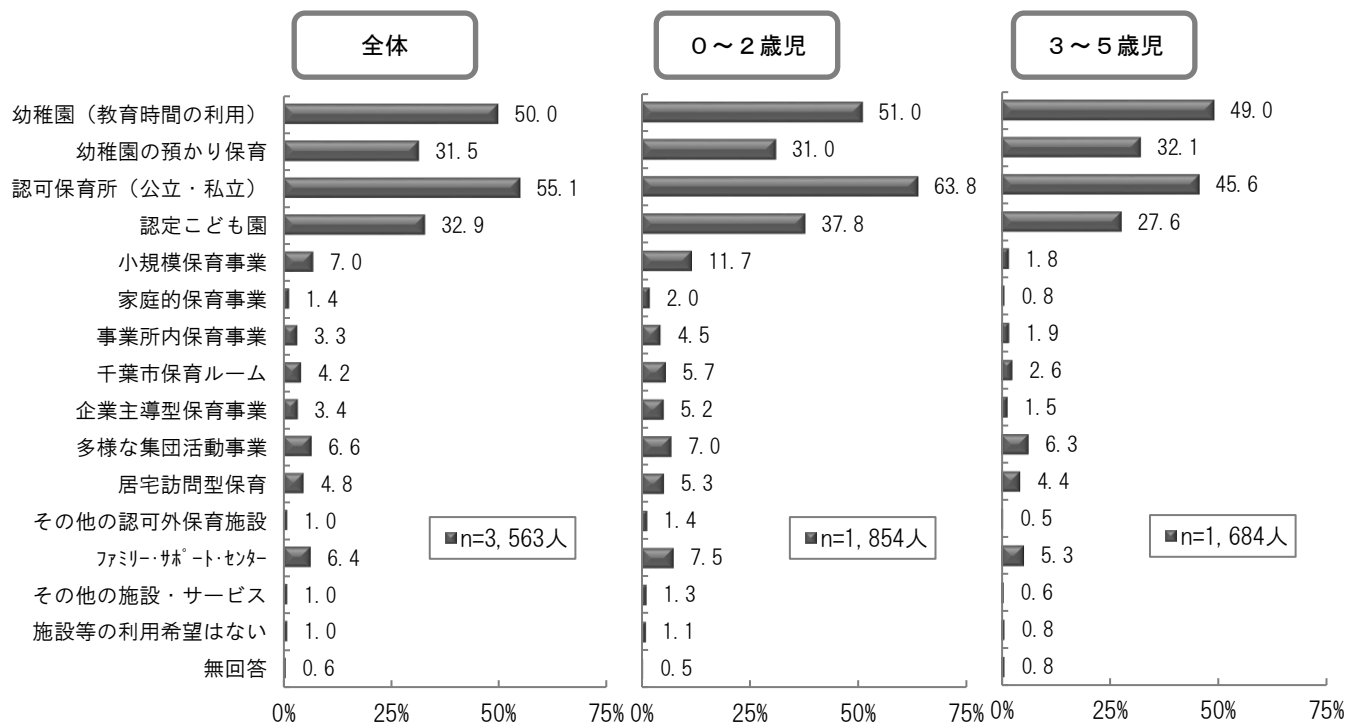
また、利用を希望していた施設等を利用しなかったと回答した方が最も利用を希望していた施設は、「認可保育所（公立・私立）」（19.3%）、「幼稚園の預かり保育」（8.8%）、「幼稚園（教育時間の利用）」（7.0%）となっていますが、「無回答」が 47.4%と多くなっています。



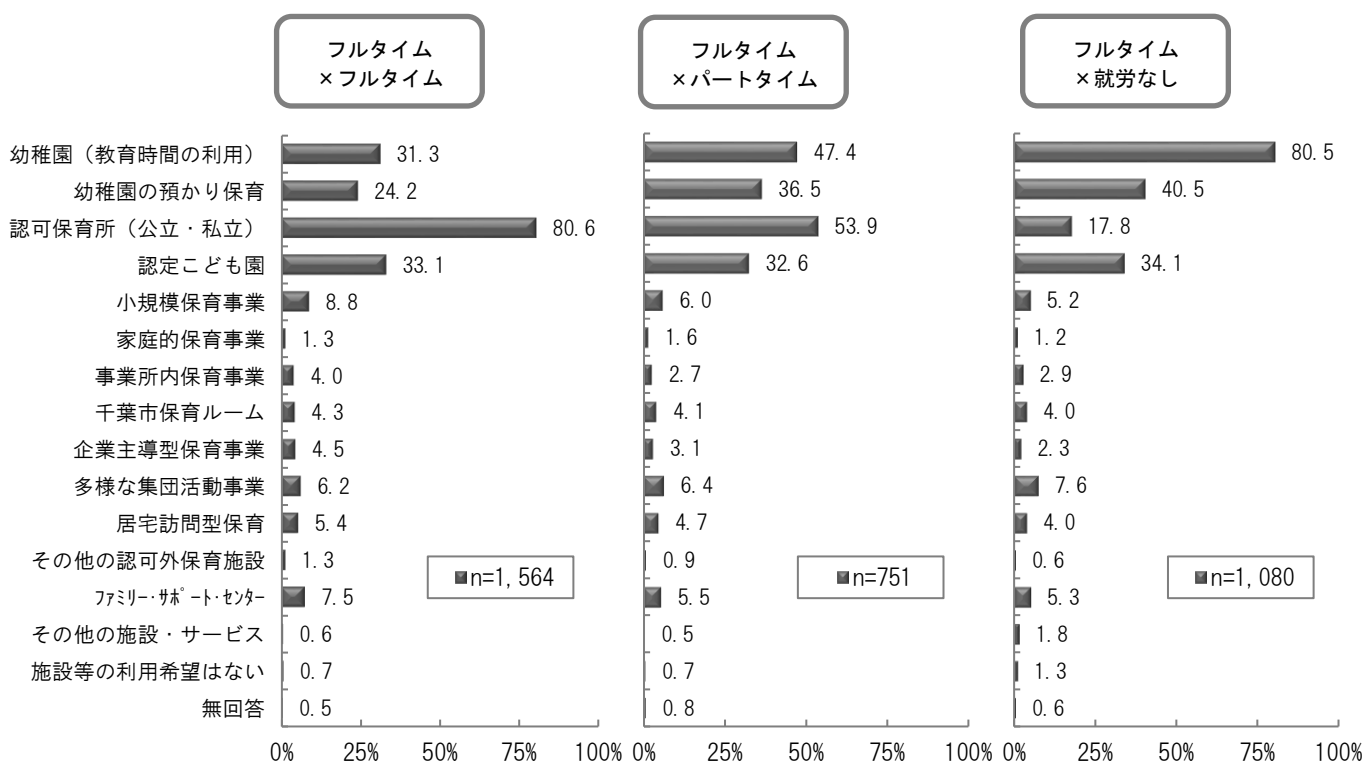
【図表 2-4】日常的に利用させたい幼稚園・保育施設等《複数回答》

現在の利用の有無にかかわらず今後日常的に子どもに利用させたい施設等は、「認可保育所（公立・私立）」が 55.1%で最も多く、次いで「幼稚園（教育時間の利用）」（50.0%）、「認定こども園」（32.9%）となっています。

年齢別にみると、0～2歳児では「認可保育所（公立・私立）」（63.8%）、3～5歳児では「幼稚園（教育時間の利用）」（49.0%）が最も多くなっています。

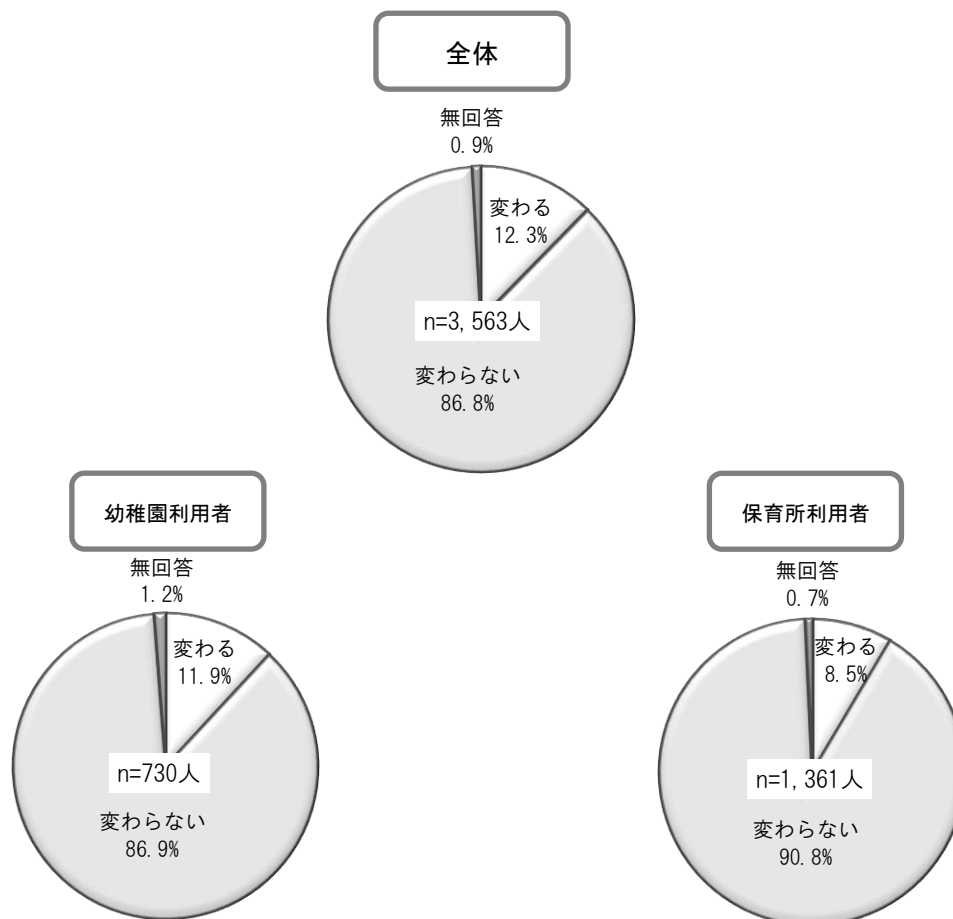


また、両親の就労状況別にみると、「フルタイム×フルタイム」と「フルタイム×パートタイム」では「認可保育所（公立・私立）」（それぞれ 80.6%と 53.9%）、「フルタイム×就労なし」では「幼稚園（教育時間の利用）」（80.5%）が、最も多くなっています。



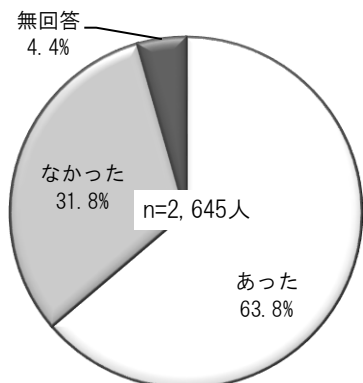
【図表 2-5】新型コロナウイルス感染症の流行が継続している場合の選択への影響

新型コロナウイルス感染症の流行が継続している場合、今後日常的に利用させたいと考える幼稚園・保育施設等の選択は変わりますかという質問には、「変わらない」が 86.8%となっています。利用施設別では、幼稚園利用者で「変わらない」と回答した割合は 86.9%、保育所利用者では 90.8%となっています。



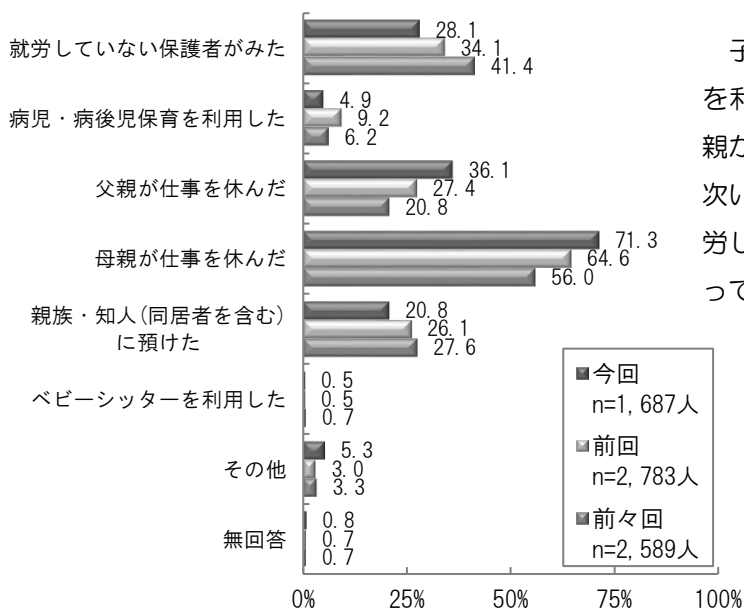
3 子どもの病気やケガの際の対応

【図表3-1】 病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかったことの有無



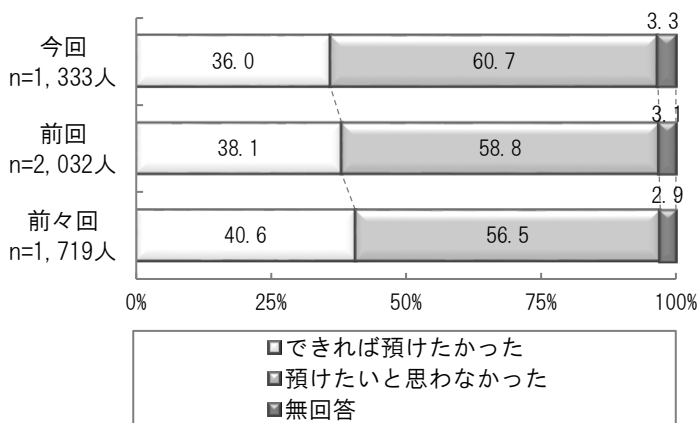
現在、幼稚園・保育施設等を日常的に利用している者のうち、子どもが病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかったことが「あった」と回答した割合は63.8%となっています。

【図表3-2】 病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の対応《複数回答》



子どもが病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の対応方法は、「母親が仕事を休んだ」が71.3%で最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」(36.1%)、「就労していない保護者がみた」(28.1%)となっています。

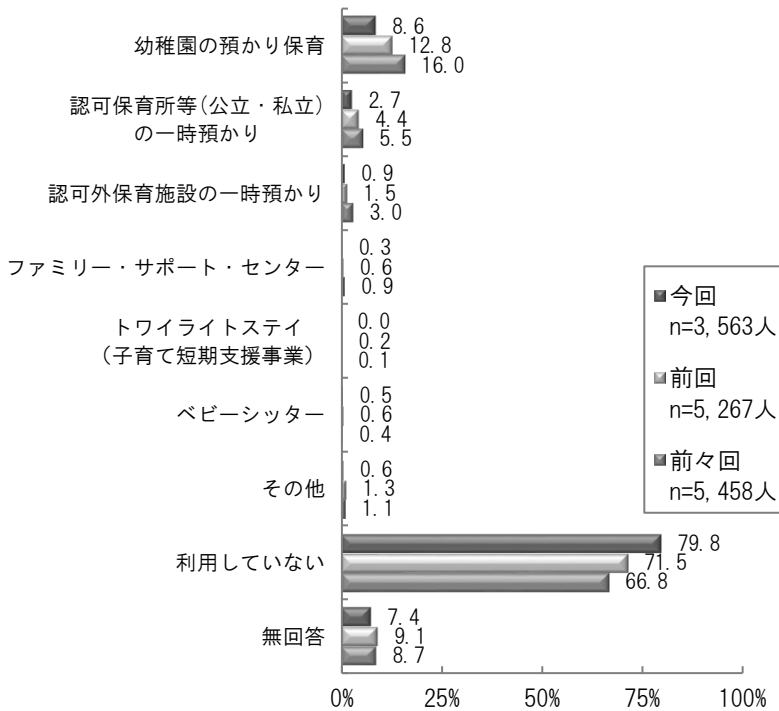
【図表3-3】 病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の病児・病後児保育等の利用希望



子どもが病気やケガで幼稚園・保育施設等を利用できなかったときに親が仕事を休んだりした方のうち、36.0%が病児・病後児保育施設等に「できれば預けたかった」と回答しています。

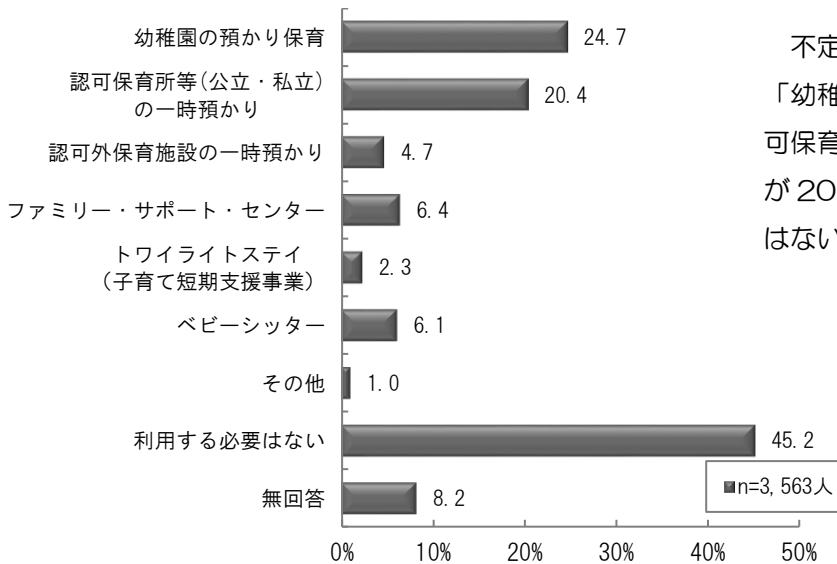
4 幼稚園・保育施設等の不定期の利用など

【図表4-1】 不定期に利用している施設・サービス《複数回答》



保護者の不定期の就労や就労以外の理由により、子どもが不定期に利用している施設・サービスは、「幼稚園の預かり保育」が8.6%、「認可保育所等(公立・私立)の一時預かり」が2.7%となっており、「利用していない」が79.8%となっています。

【図表4-2】 不定期に利用したい施設・サービス《複数回答》



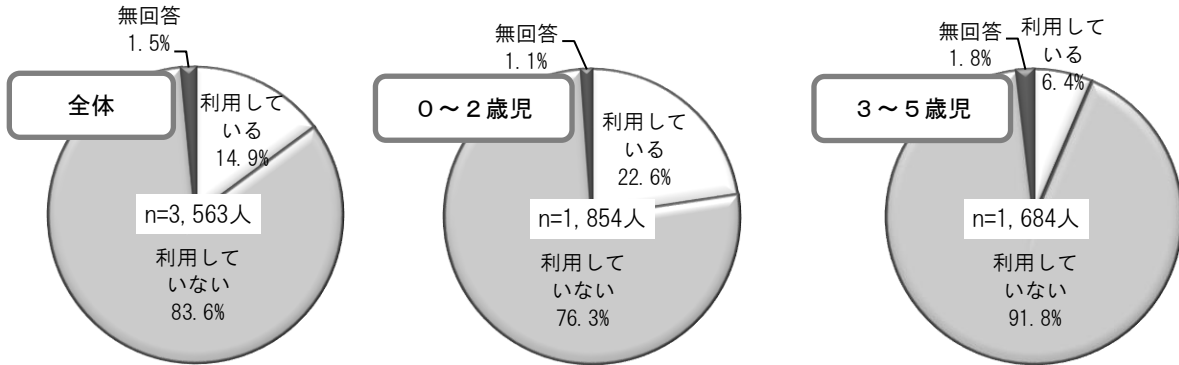
不定期に利用したい施設・サービスは、「幼稚園の預かり保育」が24.7%、「認可保育所等(公立・私立)の一時預かり」が20.4%となっており、「利用する必要はない」が45.2%となっています。

5 地域における子育て支援

【図表5-1】現在の地域子育て支援拠点の利用の有無

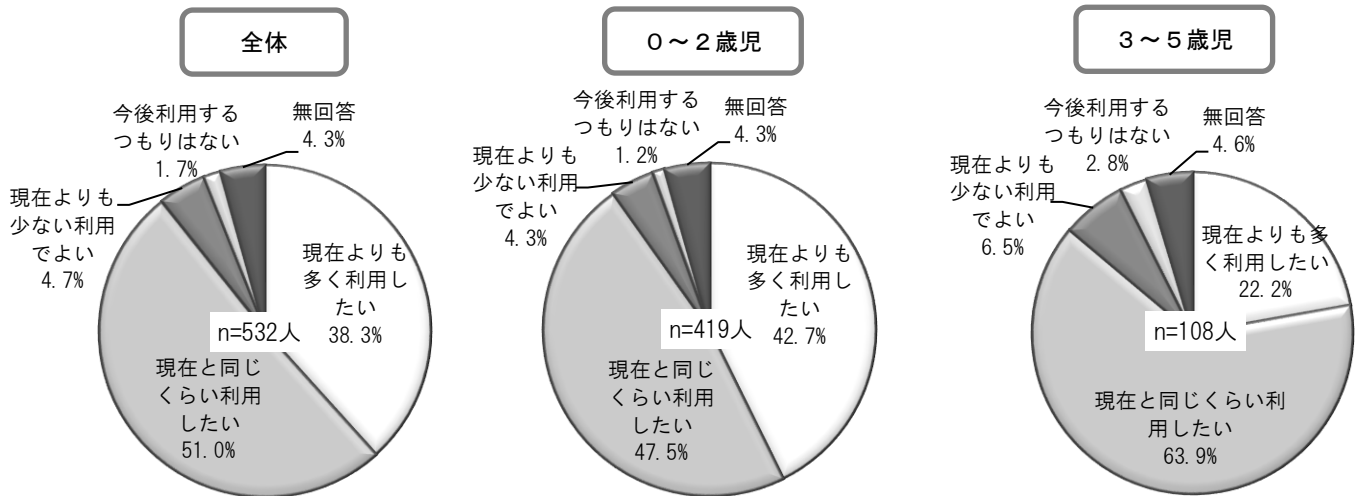
地域子育て支援拠点 … 子育て支援館、地域子育て支援センター、子育てリラックス館

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、回答者全体では「利用している」が14.9%となっており、年齢別にみると、「利用している」が0～2歳児では22.6%と3～5歳児に比べて高くなっています。



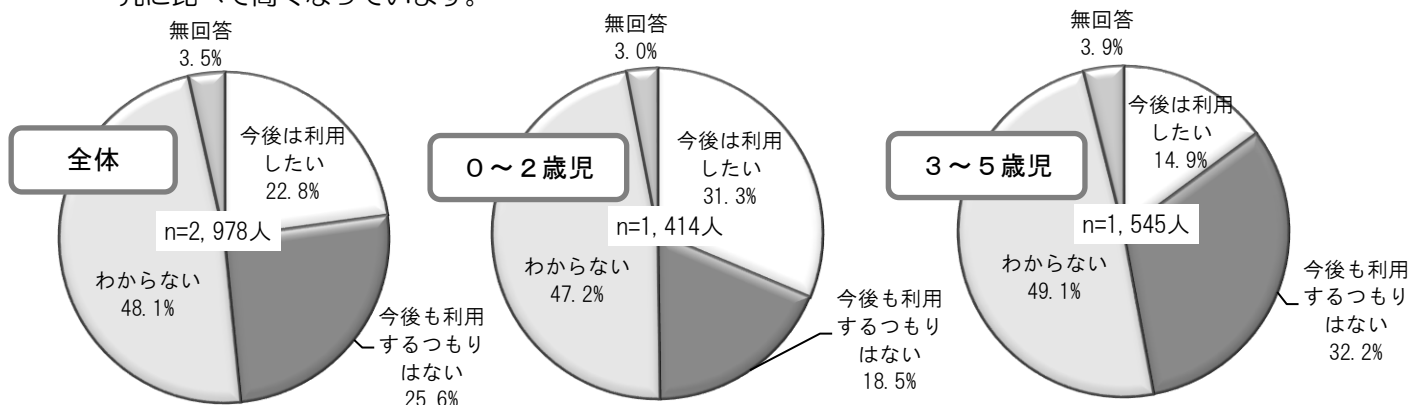
【図表5-2】現在地域子育て支援拠点を利用している者の今後の利用希望（現在との比較）

現在地域子育て支援拠点を利用している者の今後の利用希望は、「現在と同じくらい利用したい」が51.0%、「現在よりも多く利用したい」が38.3%となっており、年齢別にみると、「現在よりも多く利用したい」が0～2歳児では42.7%と、3～5歳児に比べて高くなっています。



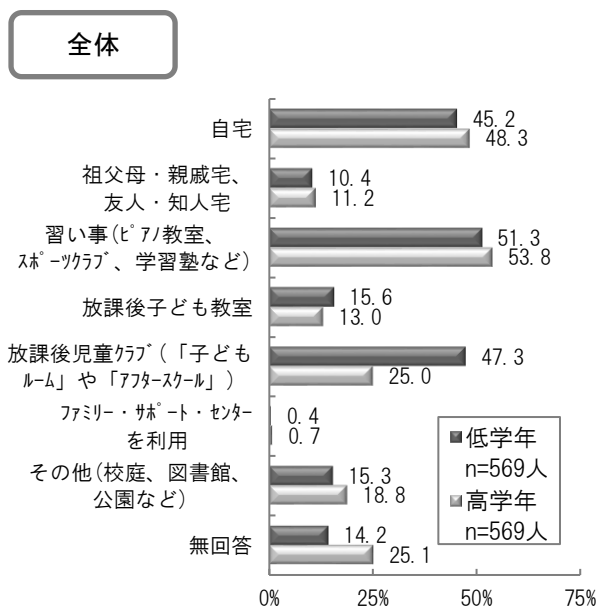
【図表5-3】現在地域子育て支援拠点を利用していない者の今後の利用希望

現在地域子育て支援拠点事業を利用していない者の今後の利用希望は、「今後は利用したい」が22.8%となっており、年齢別にみると、「今後は利用したい」が0～2歳児では31.3%と3～5歳児に比べて高くなっています。



6 小学校就学後の放課後の過ごし方

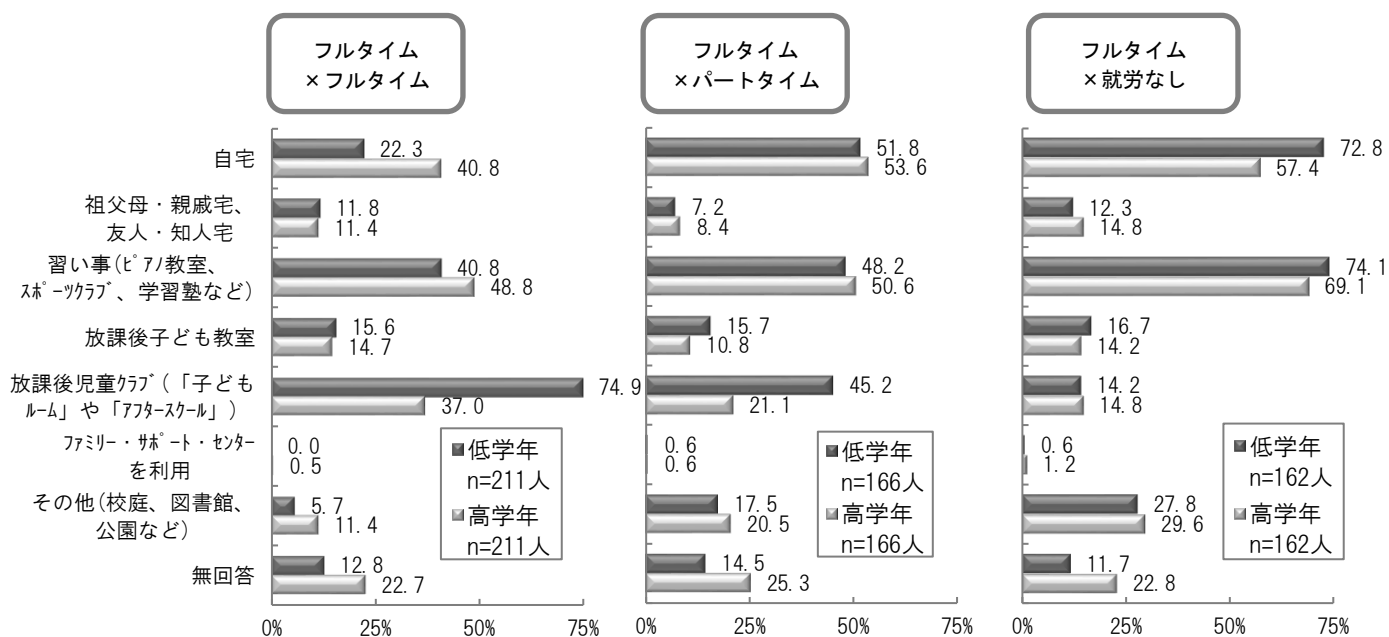
【図表6-1】小学校就学後の放課後の過ごし方の希望（5歳児のみ回答）《複数回答》



子どもが小学校に就学した後の放課後（平日の授業終了後）の過ごし方に関する希望は、回答者全体でみると、低学年の期間については、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」（51.3%）、「放課後児童クラブ（「子どもルーム」や「アフタースクール）」（47.3%）、「自宅」（45.2%）の順となっています。

高学年では、「放課後児童クラブ（「子どもルーム」や「アフタースクール）」が低学年より低くなっているが、概ね同様の傾向となっています。

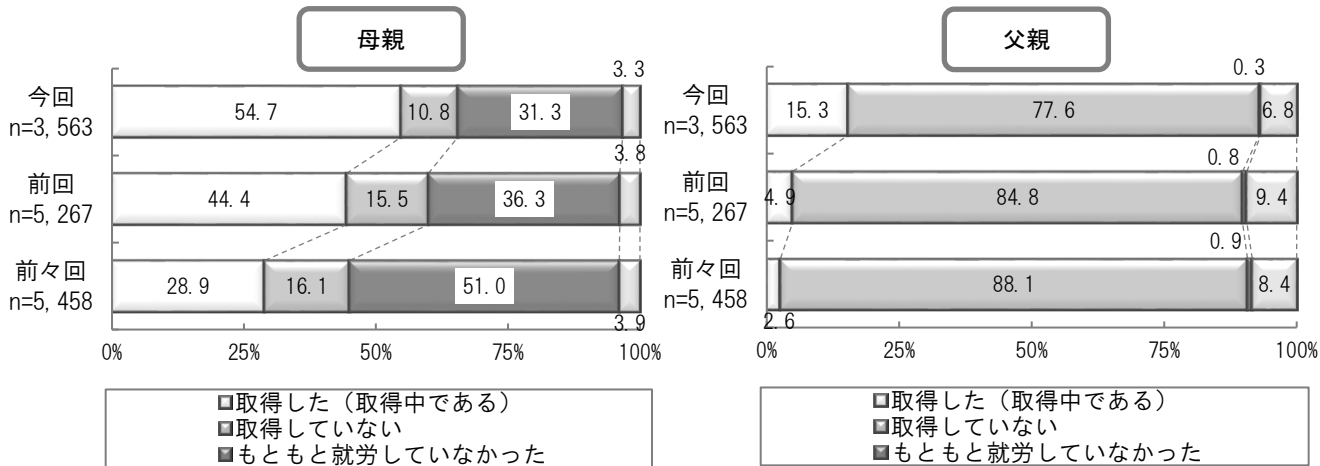
また、両親の就労状況別にみると、「フルタイム×フルタイム」では低学年は「放課後児童クラブ（「子どもルーム」や「アフタースクール）」（74.9%）、高学年は「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」（48.8%）が最も多くなっています。「フルタイム×パートタイム」では低学年・高学年ともに「自宅」（各51.8%、53.6%）、「フルタイム×就労なし」では「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」（各74.1%、69.1%）が最も多くなっています。



7 保護者の育児休業の取得状況

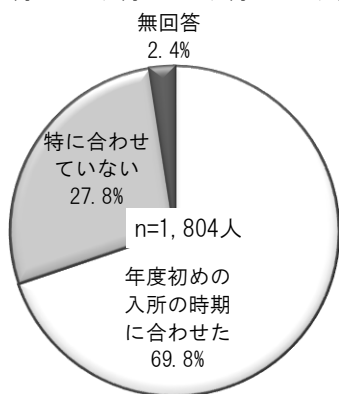
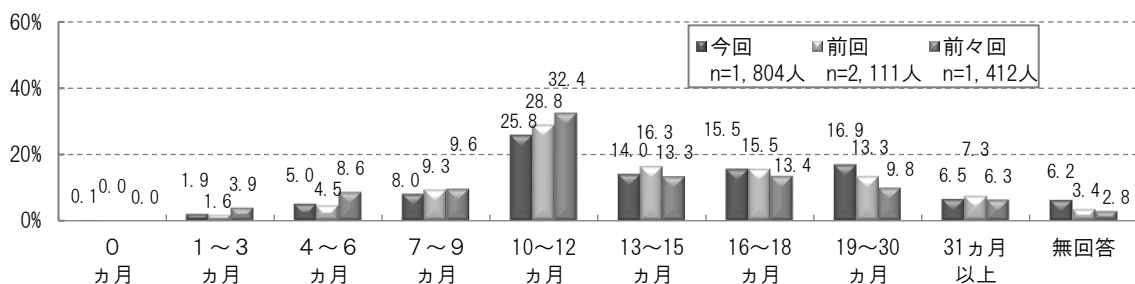
【図表7-1】両親の育児休業の取得状況

調査対象の子どもが生まれたときの育児休業の取得状況（「取得した（取得中である）」）は、母親が54.7%、父親が15.3%で、前回調査と比べてそれぞれ約10ポイント高くなっています。



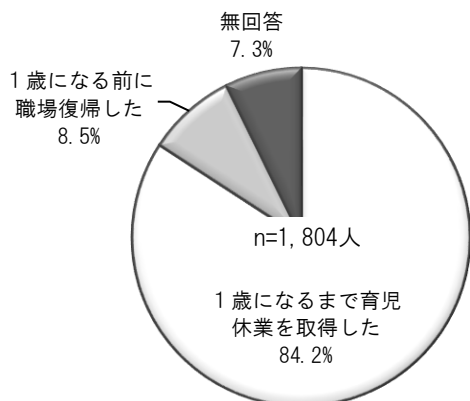
【図表7-2】母親の育児休業取得期間と職場復帰時期

母親の育児休業の取得期間は、10～12カ月が25.8%で最も多くなっています。



また、育児休業取得後に職場復帰した母親の69.8%が、復帰時期を「年度初めの入所の時期に合わせた」と回答しています。

【図表7-3】1歳になった時に必ず預けられる保育所等がある場合の母親の育児休業取得希望期間



1歳になった時に必ず預けられる保育所等がある場合の育児休業取得希望期間について、育児休業を取得した母親の84.2%が「1歳になるまで育児休業を取得した」と回答しています。

千葉市子ども・子育て支援ニーズ調査結果報告書
(小学校就学前児童向け)

【概要版】

令和4年11月発行

編集 千葉市こども未来局こども未来部幼保支援課

住所 〒260-8722 千葉市中央区千葉港2-1

千葉中央コミュニティセンター9階

連絡先 TEL 043-245-5977 FAX 043-245-5629